

旧町ごとに違っていた地籍(地図)情報を統一しましたので、平成20年度からは、本庁・総合支所いずれでも、町内すべての地籍情報を入手することができます。また、中央公民館前の舗装を実施します。

地方債と積立金の推移

一般会計と特別会計の合計の地方債と積立金の残高をお知らせします。

地方債の平成19年度末見込残高は86億4千万円で、積立金の残高は約33億1千万円程度になる見込みです。

表3

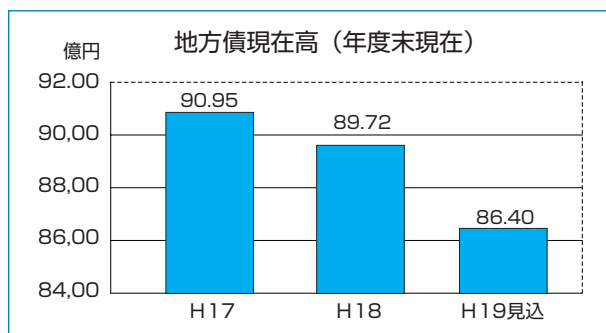
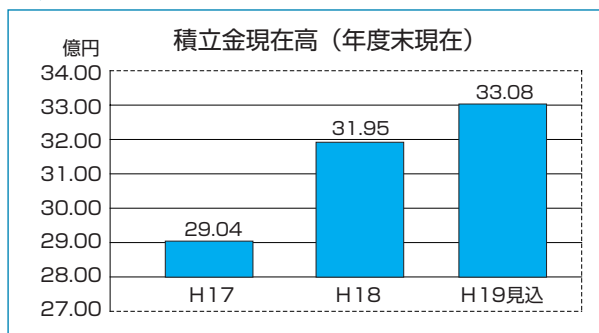


表4



単年度ごとには、地方債（起債＝借金）の借入れは、公債費（返済）よりも少なくなるようにしています。つまり、借金残高が減少する（増加しない）ように心がけています。

合併時（H18.3）の地方債残高は、約91億円でしたが、現在（H20.3）の残高は約86億4千万円となる見込みで、約4億6千万円減らすことができました。

逆に、積立金（預金）は、合併時に約29億円だったものが、節約の結果積み足して約33億1千万円に増加する見込みです。

今後、大型事業などを計画する場合に、自己資金を持つことで借入金を抑えて、将来の借金返済負担の軽減を考えています。

行政懇談会開催のお知らせ

今年も小学校区を単位として「行政懇談会」を次の日程で開催しますので、町民の皆様のご参加をお待ちしています。

行政懇談会では、本年度の主要事業などをご説明した後、参加者との意見交換を予定しています。

期 日	曜日	開始時刻	会 場	該当小学校区
4月14日	月	19：30	中央公民館	中央小学校区
4月15日	火	19：30	南小学校体育館	南 小学校区
4月17日	木	19：30	東小学校体育館	東 小学校区
4月18日	金	19：30	西小学校体育館	西 小学校区
4月21日	月	19：30	春富集会センター	春富学校区
4月22日	火	19：30	農業就業改善センター	神尾小学校区
4月24日	木	19：30	三加和公民館	緑 小学校区

※当日はこの広報紙をご持参ください。

まちの話題

①道路の整備促進を求めて！

和水町道路整備推進委員会要望集会



▲挨拶をする福島局長

平成18年3月の合併により誕生した和水町は、南北に細長い町域となりました。和水町北部地域と役場本庁を結ぶ県道（玉名八女線、和仁菊

水線、竈門菰田山鹿線、大牟田植木線、玉名立花線は、和水町の一体性確保と日常生活圏の広域化に対応する重要な路線であり、合併支援道路として位置づけられています。

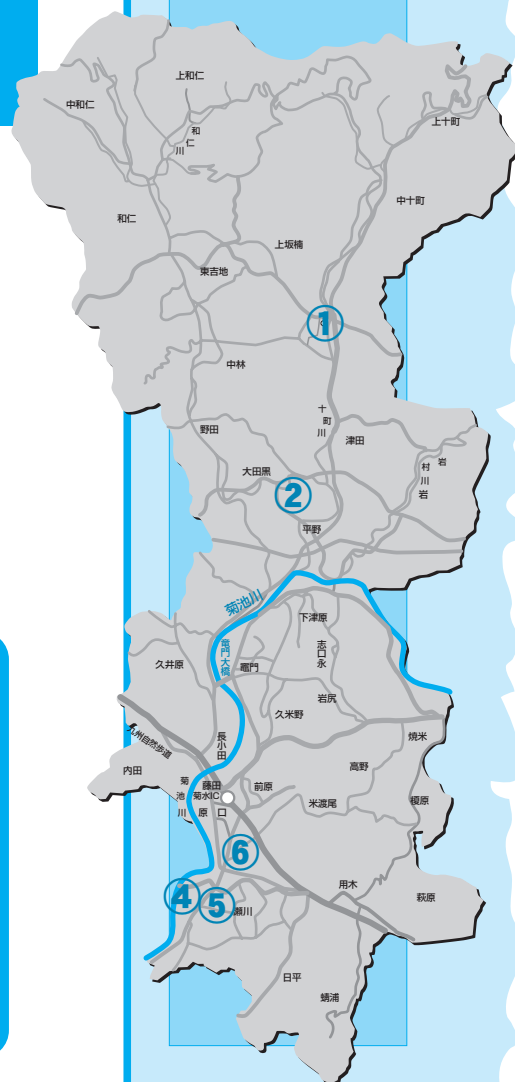
そこで、2月24日（日）沿線地域の区長（17名）、町議会議員（16名）で組織される「和水町道路整備推進委員会（会長・福山精一氏）」が設立され、3月3日には関係者40名が参加して、熊本県に対する道路整備要望集会が開催されました。

要望集会には、内野幸喜県議（玉名郡選出）をはじめ、熊本県玉名地域振興局の福島局長、高山土木部長などの参加があり、福山会長

から福島局長、高山部長に道路整備促進要望書が手渡されました。

その後、要望書を受理した福島局長は、道路は住民生活に密接な社会基盤であり、緊急性、重要性などを勘案しながら効果的効率的な整備を進めたい。特に新幹線全線開通による県北の振興を図るうえからも重要な課題であると挨拶。また、高山部長は、道路整備には地権者や地域住民の理解が不可欠であることと和水町域の県道整備の現状について説明がありました。

最後に、道路整備推進スローガンが発表され、沿線住民の理解と協力を得ながら道路整備の推進を図ることが確認され、要望集会が終了しました。



道路整備スローガン

*旧三加和地区住民と役場本庁を結ぶアクセス道路の整備推進

*安心・安全確保のための冠水対策道路の整備推進

*熊本県北部と福岡県南部地域（福岡県八女市）を最短コースで結ぶ重要幹線道路の整備推進

*和水町の産業・経済・観光等地域発展に寄与する幹線道路の整備推進

